

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	急性リンパ芽球性白血病に対する同種造血幹細胞移植における前処置強度と移植成績		
1. 研究の目的と方法	急性リンパ芽球性白血病の移植成績は近年改善がみられますが、どういった移植前処置 ¹⁾ が相応しいかは未だ明らかでなく、過去のデータで骨髄破壊的前処置 ²⁾ と強度減弱前処置 ³⁾ の移植成績を比較することで現代における前処置の最適化をはかります。 1)患者さんの免疫力と体内に残存する白血病細胞を根絶するために行う大量の抗がん剤や放射線による移植前治療 2)主に若年の患者さんに行われる強度の強い移植前処置。 3)主に高齢の患者さんに行われる強度を抑えた移植前処置。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	急性リンパ芽球性白血病の患者さんで、2000年1月1日～2022年12月31日の間に附属病院にて初回の同種造血幹細胞移植を受けた16歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、疾患情報(移植時病期など)、ドナー情報、移植後転帰など	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座
		氏名	田上 晋
	(2)試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(3)共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科講座 研究責任者：助教 田上 晋（たのうえ すずむ） 電話番号：03-3433-1111（内線 9230） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。